

# 【ねがいましては】

令和3年4月25日

KYOWA SCHOOL

第365号

「生まれ方」

ある日の新聞記事です。受刑者の方の壮絶な人生が載っていました。

さかのぼりながらたどってみます。その方は60代の方、7回目の入所です。そして女性です。インタビューの最後の一言です。「刑務所？来るとこじゃない。人生を無駄にするところ。それが今頃になって、やっとわかりました。もう少し早く気づいていたら、私の人生も違ったと思う。20代、30代の10年と、50代、60代の10年は全然違う。やり直しには時間が足りない感じだけど、今度こそスリをやめて、まじめに働きたいと思っています。」

この方が60歳を超えての心境です。

さらにこう語ります。「でも、今度ばかりはどこか住み込みで働かしてくれる会社があれば、一生、働ける限り働きたい。出所したら、いつ捕まるのかと思うことなく、一人で静かに暮らしたい。(中略) 心配してくれる友だちがたくさんいたのに、駄目な自分を見せたくなくて遠ざかるうち、誰もいなくなってしまう。でも、誰も悪くない。悪いのは自分やから。」

さかのぼります。

20歳の頃に結婚して子どもが2人生まれたけど、覚醒剤のせいで離婚されました。仕事は高校のあとはだいたい水商売。刑務所から出たあとは友だちのつてを頼ってスナックで働いたり、喫茶店でウェイトレスをしたり。まともに働こうとすると、刑務所にいたとは言えないので、履歴書に空白ができる。水商売しか知らないから、また自分で商売しようと考えたけど、刑務所ばかり行ってるから資金をためる暇がない。

そしてこの方の生まれです。

「私、刑務所で生まれて、乳児院に1年いたあと、18歳まで児童養護施設で育ったんです。親きょうだいの付き合いはありません。」

この方の7回の入所は、この方の責任じゃない。すべて親の責任だと痛感しました。刑務所で生まれる……。そのような境遇の方がいらっしやっただ……。親の顔も、兄弟の顔も知らないまま18歳まで児童養護施設で生活……。

何も言葉が出てきません……。

もし、私たちが思う、当たり前な生まれ方をし、当たり前な育ち方をしていたなら……。つまり、親、きょうだい、親類に祝福されながら誕生し、ご両親やきょうだいのぬくもりの中で育ち、当たり前に住み込みで学校へ通い、当たり前で友だちと遊び、当たり前に進学をし、当たり前で就職をし、当たり前で家庭を持っていたなら……。

私たちはどれだけの「あたりまえ」をいただいていることか……。

無料で学校へ行くことができる「あたりまえ」

無料で教科書を受け取ることのできる「あたりまえ」

無料で先生と触れ合える「あたりまえ」

この「あたりまえ」の中でぬくぬくと生活する子どもたち……。そこから発生する感情……。

知らぬ間に、温かい湯船の中につかっているのがあたりまえになってしまい、湯船の中で「めんどくさい」「つまらない」「〇〇さんはきらいだ」「〇〇先生だいきらい」……。

周りを見ながら、周りがそうだから自分もそうなのだ、と、なってしまう自分に気がつくことは滅多にないのかもしれない。

私の幼少のころ、ある大きな勘違いをしていたことがありました。毎日のようにテレビで流れるニュースの中で、〇〇さんの自宅に泥棒（窃盗）が入り、100万円が盗まれました。1ヶ月後犯人は逮捕されました。そのようなニュースの場合、捕まえてくれたお巡りさんは良い人たちだから、盗まれた100万円はお巡りさんが弁償してくれる。かわいそうな人たちを救ってくれるのがお巡りさんだから、そうしてくれるに違いない……。勝手な思い込みです。

年を重ね、そうではないことが徐々にわかっていきます。

今の子どもひとりにかかる国税はいくらなのか？ 国税庁のホームページから、中学生は約104万円、小学生は約89万円（平成29年度）です。月あたりにすると、中学生は約9万円です。何にかかっているのか、先生方のお給料、校舎の維持費、水道光熱費等々……もちろん教科書もです。

その9万円を1日に直してみます。→1ヶ月に20日通ったとすると、1日4,500円になります。

もし、毎月9万円が国から各家庭に送られてきて、毎月月謝ですと言ってその現金を学校へ持って行ったら、少しは子どもたちの意識が変化するのかもしれない。お母さま方がパートなどで働いて、月9万円の収入を得ることは結構大変なことだと思います。

まず子どもたちに感じていただきたいこと、あたりまえに生まれてきて良かったですね。このことを一番に感謝しながら、あたりまえだと思っている学校生活を、あらためて考えてみましょう。